

令和7年度 東村山市立小学校長会

本校長会は、小学校15校で構成されている。今年度の校長会のテーマを「協働・共生」とし、教育委員会や関係諸機関との組織的な連携を重視しながら、地区内の課題について協議し、諸課題の解決にあっている。

1 校長会の運営組織

- 会長 大谷 憲司（野火止小）
- 副会長 西田 智男（化成小）※都小学校長会地区代表幹事
- 対策部長 日高 宏政（八坂小） 以上 三役
- 庶務部長 渡辺 毅（回田小）※都小学校長会地区会計担当
- 研究部長 鈴木 賢次（萩山小）
- 市教研会長 野坂 純司（大岱小）
- 学校経営課題研修 吉野 正人（東萩山小）
- 相談役 小坂橋 悦子（久米川小）

各部活動 — 全校長が「対策」「庶務」「研究」の各部に所属し、小学校長会の運営にあたる。
各種委員会 — 教育委員会主催の各種委員会などの委員長を務め、会の推進を行う。

ひがっしー



東村山市公式キャラクター

2 校長会の活動内容

- (1) 小学校校長会（毎月1回、会場は15校もち回りで開催）
 - 会長会務報告、副会長都小報告をはじめ、各部からの報告と情報交換、また、当面する諸課題への対応を検討する。校長会研究の全体会、分科会を行う。
- (2) 小・中学校校長会（毎月1回、市教育委員会主催の定例校長会後開催）
 - 校長会全体での連絡調整と情報交換を主な議題とする。
- (3) 役員会（毎月1回、会長・副会長・対策部長・庶務部長〔会計厚生〕・研究部長・市教研会長、学校経営研修会長で組織、定例校長会後開催）
 - 教育課程、緊急課題への対応や労務管理に関する対策、学校経営上の課題への対応、校長会各部の情報交換と調整を行う。
- (4) 市教委連絡会（月1回校長会長、副会長と教育長、部長、次長、課長、統括指導主事で構成）
 - 定例校長会の事前協議、当面の教育課題、市教委からの提案事項、校長会からの要望事項などについて協議する。
- (5) 東村山市教育研究会、学校経営研究会（年間を通して実施）
 - 市教育研究会への助言を行う。学校経営研究会で管理職候補・幹部教員に指導を行う。

3 特色ある活動

- (1) 研究活動 研究主題 「自他を大切に思う思いをもち、主体的に行動する児童の育成」
～出会う、学ぶ、変わる 東村山市のいこところの教育の実践を通して～
 - 東村山市教育委員会においては教育目標を達成するために基本方針の第1に「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成を位置付け、人権教育及び自他の生命を尊重するなどの心の教育を充実することを目指している。また、本市には国立療養所多磨全生園及び国立ハンセン病資料館があり、ハンセン病回復者との交流や現地のフィールドワークの実施など、各学校の教育課程の中にハンセン病学習を中心に据えた特徴的な人権教育の取組が推進されている。このような背景を踏まえ、研究テーマを「人権教育の推進」とし、上記の研究主題を設定し研究を進めることとした。
 - 部会を「探究・実践部会（ハンセン病学習）」「意見表明部会（子どもの権利条約）」「人材育成部会（教員研修）」の三部会に分け、研究を進めている。
- (2) 教育課題への取組（対策部の設置）
 - 市教委への施設や予算等の要望の取りまとめを行う。



国立ハンセン病資料館

4 課題

- 前年度までの校長会の研究の成果を各校の経営ビジョンの具現化に生かし、充実・発展させること。
- 校長会として、当面する課題に向けたリーダーシップのあり方を具体化・共有化すること。